

106 低未利用区有財産活用調査検討【新規】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	質の高い、効果的で効率的な区政運営を推進します
------------------------	-------------------------

事業概要	内容	区は、低未利用状態にある区所有建物や区所有地を有効活用するため、平成29年度に「低未利用区有施設等検討会」を設置し、種々の情報収集や意見交換を行うなど総合的な検討を行っています。 平成30年度は、軽井沢少年自然の家と旧箱根千代田荘を対象に、学識経験者や福祉団体関係者、区民を委員とする「郊外区有施設の利活用に向けた検討会」を設置し、多角的視点からの利活用を検討しました。
	事業開始年度	平成30年度

事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	34,402,000円		9,174,781円		26.7%		
	コスト単位	区民1人あたり (64,584人)					
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
142円		[69.3%]	63円	[30.7%]	205円	[100.0%]	

事業実績	○平成30年度実績					
	【低未利用区有施設等検討会】					
	①開催実績及び検討内容等 (3回実施)					
	開催回	開催日	検討内容等			
	第1回	5月29日	各部の活用希望に対する庁内の共通理解と今後の検討の進め方			
第2回	9月14日	旧和泉町ポンプ所 (東京都下水道局) ・旧高齢者センター・猿楽町自転車保管場所・旧千代田保健所・軽井沢少年自然の家・旧箱根千代田荘				
第3回	11月15日	軽井沢少年自然の家 (暫定活用について)				
②旧区立外神田住宅に関する現状調査						
【郊外区有施設の利活用に向けた検討会】						
・開催実績及び検討内容等 (3回実施)						
開催回	開催日	検討内容等				
第1回	6月26日	軽井沢少年自然の家：教育分野や文化財の収蔵施設としての暫定利用などを含め、幅広い視点で引き続き活用策を検討していく 旧箱根千代田荘：宿泊施設の活用検討に加え、福祉的な視点も踏まえた活用策を引き続き検討していく				
第2回	7月26日					
第3回	8月31日					

2年度事業実績及び現況の対応	平成30年度は、旧区立外神田住宅について関係者との調整に時間を要したことなどにより、基礎的な調査にとどまったため、予算の執行率が低くなっています。
	令和元年度は、軽井沢少年自然の家については引き続き検討を行い、旧区立外神田住宅については建物区分所有者の権利を区が取得するための取組みを進めていきます。旧箱根千代田荘についても関連部署と協力しながらさらに検討を深めていきます。 また、低未利用区有財産を含めた区有施設全般を対象に、各部における現状の事業実施における課題の解決や、区民の将来的なニーズを踏まえた事業展開のために必要となる施設需要調査を行い、中・長期的な観点から整理を行います。 令和2年度は、整理したデータや資料に基づき、庁内検討を深め具体的な方策を練り上げていきます。

所管課	政策経営部 施設経営課 (財産管理担当課長)	決算参考書	226頁	H30予算の概要	182頁
-----	------------------------	-------	------	----------	------

107 旧富士見福祉会館・児童館解体【新規】
旧飯田橋保育園・職員住宅解体【新規】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	質の高い、効果的で効率的な区政運営を推進します
------------------------	-------------------------

事業概要	内容	旧富士見福祉会館・児童館及び旧飯田橋保育園・職員住宅について、建物が老朽化していることや防火防犯などの安全性を確保するため、建物の解体を行います。 平成30年度は設計を行い解体工事に着手し、令和元年度に解体工事が完了する予定です。
	事業開始年度	平成30年度

		予算現額		決算額		執行率			
事業費・コスト	(1) 旧富士見福祉会館・児童館解体		76,380,000円		61,971,508円		81.1%		
	(2) 旧飯田橋保育園・職員住宅解体		75,260,000円		48,571,508円		64.5%		
	コスト単位	(1) 解体1施設あたり		(1 施設)			
		(2) 解体1施設あたり		(1 施設)			
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)			
	(1)	61,971,508円	[98.7%]	814,775円	[1.3%]	62,786,283円	[100.0%]		
(2)	48,571,508円	[98.4%]	814,775円	[1.6%]	49,386,283円	[100.0%]			

事業実績	○平成30年度実績
	<p>【旧富士見福祉会館・児童館解体】 鉄筋コンクリート造、地上6階・地下1階、延べ面積：2,521.28㎡のうち、地上部約2,115㎡の解体工事を進めています。 工事期間：平成30年10月から令和元年9月まで</p> <p>【旧飯田橋保育園・職員住宅解体】 鉄骨鉄筋コンクリート造、地上7階・地下1階、延べ面積：2,469.86㎡のうち、地上部約1,855㎡の解体工事を行いました。 工事期間：平成30年9月から令和元年6月まで</p>

2 事業年度実績を踏まえた令和	<p>本事業は、解体設計業務が平成30年度に完了し、令和元年度に地上建物の解体工事が完了する予定です。 工事完了後は、区有財産の有効活用の観点から、暫定的に広場の整備を行います。 旧飯田橋保育園・職員住宅跡地は令和元年秋頃、旧富士見福祉会館・児童館跡地は令和2年の年明け頃から利用できるよう、地域の方々の意見を参考にしながら整備を進めます。 なお、広場の利用開始後は、適切に維持管理を行っていきます。</p>
-----------------	--

所管課 政策経営部 施設経営課	決算参考書	226頁	H30予算の概要	182頁
-----------------	-------	------	----------	------

108 九段南一丁目借受地の整備【新規】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	質の高い、効果的で効率的な区政運営を推進します
------------------------	-------------------------

事業概要	内容	九段南一丁目の民有地について、所有者が再利用に着手するまでの間、有効活用するために、区が無償で借用して広場として整備します。 平成30年度に広場設計・工事着手し、3月末に工事完了しました。 【借用概要】 期間：平成30年4月1日から令和5年3月31日の5年間 （整備及び原状回復工事の期間を含む） 使用用途：子どもの遊び場や地域活性化に資する活用など
	事業開始年度	平成30年度

事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	213,326,000円		132,028,960円		61.9%		
	コスト単位	整備1施設あたり (1施設)					
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
132,028,960円		[97.0%]	4,073,877円	[3.0%]	136,102,837円	[100.0%]	

事業実績	○平成30年度実績 広場の具体的な利用方法や管理方法などについて庁内で検討し、北東側（約1,800㎡）は子どもの遊び場及び保育施設の代替園庭機能の「くだんしたこどもひろば」、南西側（約1,000㎡）は誰でも利用できる「九段下まちかど広場」として広場の設計を行い、整備工事を完了しました。	
	 <p>▲くだんしたこどもひろば</p>	 <p>▲九段下まちかど広場</p>

2年度事業実績を踏まえた課題及び現況への対応	<p>本事業は、予定されていた広場整備工事を終えたため、平成30年度で完了しました（平成31年3月29日に工事竣工）。なお、詳細設計時に民有地残存物の詳細が判明したため、当初予算編成時点に想定したよりも解体範囲を抑えることができたことから執行率が低くなりました。</p> <p>整備を行った「くだんしたこどもひろば」及び「九段下まちかど広場」は、平成31年4月に開設し、令和4年11月までの利用を予定しています。</p> <p>その間、区民の皆さんが安全・安心して使用していただけるよう、関連部署と協力しながら適切な維持管理をしていきます。</p>
------------------------	--

所管課 政策経営部 施設経営課	決算参考書	226頁	H30予算の概要	182頁
-----------------	-------	------	----------	------

109 総合住民サービスシステムの運営【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	質の高い、効果的で効率的な区政運営を推進します
------------------------	-------------------------

事業概要	内容	<p>総合住民サービスシステムは、質の高いサービスを提供することを目的として、平成23年10月から運用を開始し、①住民記録 ②印鑑登録 ③選挙 ④住民税 ⑤軽自動車税 ⑥収納消込 ⑦国民年金 ⑧国民健康保険 ⑨後期高齢者医療 ⑩介護保険 ⑪児童手当 ⑫こども医療 ⑬ひとり親家庭等医療 ⑭区次世代育成手当 ⑮児童育成手当 ⑯児童扶養手当 ⑰宛名 ⑱総合窓口支援 ⑲総合健診の19業務を行っています。</p> <p>運用開始から10年が経過する令和3年を目途に、平成29年10月から本格運用が開始された社会保障・税番号制度における、他の自治体と情報をやりとりするための改修や、利用する業務における法改正、事務移管による業務拡大等も踏まえ、更なる区民サービスの向上をめざすためシステムの見直しを行います。</p>
	事業開始年度	平成23年度

		予算現額	決算額	執行率	
事業費・コスト	(1) 総合住民サービスシステムの運営	251,594,000円	230,189,139円	91.5%	
	(2) 社会保障・税番号制度対応	49,103,000円	41,699,004円	84.9%	
	(3) 総合住民サービスシステムのリプレース	40,459,000円	40,443,600円	100.0%	
	コスト単位	(1) 区民1人あたり	(64,584人)		
		(2) 区民1人あたり	(64,584人)		
		(3) 区民1人あたり	(64,584人)		
	コスト内訳	事業費等 (A)	人件費 (按分) (B)	総コスト (C=A+B)	
	(1)	3,564円 [96.6%]	126円 [3.4%]	3,690円	[100.0%]
	(2)	646円 [83.7%]	126円 [16.3%]	772円	[100.0%]
	(3)	626円 [83.2%]	126円 [16.8%]	752円	[100.0%]

事業実績	<p>○平成30年度実績</p> <p>(1) 総合住民サービスシステムの運営 総合住民サービスシステムの19業務 (22システム) について、適切な運用・保守管理を実施するとともに、改元や法改正等へ対応するため、システム改修を実施しました。</p> <p>(2) 社会保障・税番号制度対応 番号利用事務に追加された業務へのシステム改修を実施しました。 また、児童手当などの、マイナンバーカードを利用した「ぴったりサービス (子育てワンストップ)」の電子申請に対応できる環境を整備しました。</p> <p>(3) 総合住民サービスシステムのリプレース 業務担当課に対するヒアリングを踏まえ、業務の効率化や業務継続性及びセキュリティ対策の観点から、住民情報を使用する6システムを新たに追加した28システムにて構築することを決定し、次期総合住民サービスシステム調達に向けた情報提供依頼 (RFI) を実施しました。 また、令和元年度の事業者選定に向け、システム環境面及び運用保守面の観点から全体最適化に向けた課題等の取りまとめを実施しました。</p>
------	---

2年度事業実績及び現況と令和対応	<p>マイナンバーを含む個人情報を取り扱う次期総合住民サービスシステムの構築にあたっては、セキュリティ対策に万全を期す必要があります。</p> <p>このため、令和元年度は、平成30年度に取りまとめた課題を踏まえるとともに、さらなるセキュリティ対策を盛り込んだうえで構築事業者の選定を行います。</p> <p>令和2年度は、令和3年10月の稼働開始に向け、次期システムの構築作業を実施します。</p>
------------------	--

所管課 政策経営部 IT推進課	決算参考書	226頁	H30予算の概要	181頁
-----------------	-------	------	----------	------

110 情報セキュリティの確保【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	質の高い、効果的で効率的な区政運営を推進します
------------------------	-------------------------

事業概要	内容	<p>区における情報セキュリティの向上を目的として、(1) 標的型メール訓練 (2) 情報システム監査業務及び情報セキュリティ研修業務 (3) Webサイトのセキュリティ診断を行っています。</p> <p>標的型メール訓練及び情報システム監査を通じて、情報セキュリティ対策に関する職員の意識向上及び運用状況等の確認、改善等を継続的に実施しています。また、平成30年度から新たに実施しているWebサイトのセキュリティ診断では、区及び区の関連団体等が運営するWebサイトのセキュリティレベルを向上させるため、脆弱性診断及び改善提案を行っています。</p>
	事業開始年度	平成29年度

事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	33,813,000円		18,187,200円		53.8%		
	コスト単位	区民1人あたり (64,584人)					
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
		282円	[69.1%]	126円	[30.9%]	408円	[100.0%]

事業実績	<p>○平成30年度実績</p> <p>(1) 標的型メール訓練 擬似標的型メールを庁内各課に送付し、本文に記載のあるURLのクリック数を集計しました。結果は0件であり、見覚えのないメールは開かない等の意識の徹底が確認できました。</p> <p>(2) 情報システム監査及び情報セキュリティ研修 導入1年目及び3年目の個別システム17件について、外部のセキュリティ監査人の指導のもと情報セキュリティ内部監査を実施しました。監査計画、自己点検結果、実地監査、ヒアリング、監査結果に基づく改善提案を実施し、情報セキュリティポリシーに沿った助言、改善提案を行いました。</p> <p>また、個人情報を扱う管理職を対象に情報セキュリティポリシーに関する研修を行い、セキュリティ意識の向上を図りました。</p> <p>(3) Webサイトのセキュリティ診断 区及び区の関連団体等が運営するWebサイト20サイトについて、セキュリティ診断を実施し、発見された脆弱性に対する改善提案を行い、改修等の対策を実施しました。</p> <p>また、Webサイトにおける情報セキュリティのさらなる向上を図るために、Webサイト構築のための対策基準を策定しました。</p>
------	---

2年度事業実績を踏まえた 課題及び現況への対応	<p>平成30年度は、Webサイトのセキュリティ診断に係る契約差金が生じたことなどにより、執行率が低くなりました。Webサイトのセキュリティについては、新たな脅威の発生や構築に使用されているシステムのサポート状況等日々変化していくため、継続的に実施する必要があります。</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を前に新たな脅威の発生に備え、令和元年度は、Webサイトのセキュリティ診断を引き続き実施し、実施結果及びWebサイト構築のための対策基準を基に、改善及び安定運用に関する助言を行います。また、平成30年度に策定した対策基準を、庁内及び区の関連団体等のWebサイトの管理者に周知し、情報セキュリティのさらなる向上を図ります。</p> <p>令和2年度は、引き続きセキュリティ診断を実施し、Webサイトの継続的安定運用を支援するとともに、診断対象のWebサイトの拡充、見直し等を実施していきます。</p>
----------------------------	---

所管課 政策経営部 IT推進課	決算参考書	228頁	H30予算の概要	183頁
-----------------	-------	------	----------	------

111 防災意識の普及・啓発【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	みんなで助けあう減災のまちづくりを進めます
------------------------	-----------------------

事業概要	内容	<p>減災のまちづくりを進めるためには、一人ひとりが「自らの生命は自らが守る」「自分たちのまちは自分たちで守る」といった「自助」「協助」の高い防災意識を持つことが必要です。</p> <p>そのため、災害時に命を守り、被害を最小限に抑えた上、自宅での生活を維持するための対策について、区ホームページや安全・安心メール、町会長・婦人部長会議等を活用し、これまで以上に周知していきます。</p> <p>また、地域における防災リーダーの育成を目的として、防災士資格の取得及び、地区防災活動に対し新たに補助制度を設けることで、地域防災力の向上を積極的に支援していきます。</p>
	事業開始年度	昭和50年度

事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	27,802,000円		12,050,241円		43.3%		
	コスト単位	区民1人あたり (64,584人)					
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
187円		[64.9%]	101円	[35.1%]	288円	[100.0%]	

事業実績	<p>○平成30年度実績</p> <p>(1) 自助・協助に関する意識啓発 町会長会議・婦人団体協議会において説明 9回実施 広報千代田防災特集号(8/5号・9/5号・11/5号・12/20号)掲載 安全・安心メールによる周知 2回実施</p> <p>(2) 防災士資格取得費用助成 助成人数：12名</p> <p>(3) 地区防災活動支援事業 件数：2件</p> <p>※平成30年度は、洪水ハザードマップを作成しなかったことにより、執行率が低くなりました。</p>
------	--

現況と令和2年度予算への対応	<p>「防災士資格取得費用助成制度」及び「地区防災活動支援事業」について、申請件数が少ないことが課題となっています。</p> <p>そこで、令和元年度は避難所運営協議会や各地域における訓練の場などの機会をとらえて制度の周知を行い、資格取得者数の拡大と新規団体の発掘を図ります。また、区民主体の災害対策を支える取組みとして、大規模な災害から命を守るために、地域住民などからなる防災組織が策定する「地区防災計画」や「コミュニティ・タイムライン」、各家庭で作成する「マイ・タイムライン」に関する講座を実施するとともに、地区防災計画制度の普及を図るため、モデル地区を選定し、計画策定支援を行うことでさらなる地域の防災力向上を推進していきます。</p> <p>令和2年度は、引き続き補助制度の周知を行うとともに、「地区防災計画」の策定や「コミュニティ・タイムライン」の普及啓発を推進していきます。</p>
----------------	---

所管課 政策経営部 災害対策・危機管理課	決算参考書	228頁	H30予算の概要	179頁
----------------------	-------	------	----------	------

112 防災訓練

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	みんなで助けあう減災のまちづくりを進めます
------------------------	-----------------------

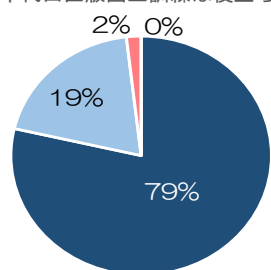
事業概要	内容	平成29年度から、区内15か所で実施されている避難所防災訓練に、新たに図上訓練として、HUG訓練を導入しました。HUG訓練とは、避難者の年齢・性別・国籍や各々が抱える事情が書かれたカードと一般的な避難所に見立てた平面図を使い、「①どれだけ適切に配置できるか」「②避難所で起こるさまざまな出来事にどう対応していくか」をゲーム形式で疑似体験できる訓練です。 平成30年度は、HUG訓練の本質はそのままに、区の特性を反映させた内容とすることで、より地域の防災力の向上を図ります。また、地域住民を対象とした区の実情に合わせた防災講座の実施や、地域の防災リーダー育成の支援など、住民主体の「自助」「協助」の体制を強化し、「みんなで助けあう減災のまちづくり」を進めていきます。
	事業開始年度	昭和45年度

事業費・コスト	予算現額		決算額	執行率
	(1) 避難所運営協議会		201,000円	20,347円 10.1%
	(2) 防災訓練		20,100,000円	16,027,860円 79.7%
	コスト単位	(1) 区民1人あたり (64,584人)		
		(2) 参加者1人あたり (4,144人)		
	コスト内訳	事業費等 (A)	人件費 (按分) (B)	総コスト (C=A+B)
	(1)	0円 [0.0%]	57円 [100.0%]	57円 [100.0%]
(2)	3,868円 [64.1%]	2,163円 [35.9%]	6,031円 [100.0%]	

事業実績	○平成30年度実績			
	平成30年度から新たな避難所防災訓練のメニューとして、区の特性を反映させた千代田区版図上訓練を導入し、地域の実情に合わせた、より実践的な訓練を区民が選択して行えるようにしたところ、参加者から「避難所の運営をイメージできた」など、図上訓練が役立つというご意見を多くいただきました。			
	また、児童を対象に防災に関する講座「みらいの防災リーダー養成講座」を新たに実施し、将来を見据えた地域防災力の向上を図りました。			
	年度	避難所運営協議会	避難所防災訓練	みらいの防災リーダー養成講座
	平成30年度	17回開催	11回開催 (延べ1,793名参加)	1回開催 (児童16名参加)
	平成29年度	12回開催	10回開催 (延べ1,777名参加)	-

■アンケート結果

千代田区版図上訓練は役立ちましたか？



- 役立つ
- やや役立つ
- あまり役に立たない
- 役立たない

2課事業
年度実績
及び現況
踏まえた
対応

地域の防災力をより高めるためには、防災訓練参加者のすそ野を広げていくことが必要です。
そこで、避難所防災訓練に参加しづらい小学生を対象にした防災講座の開催に加えて、令和元年度は、小学生と同様にこれまで防災訓練に参加しづらかった乳幼児を持つ保護者を対象とした防災講座を新たに実施します。
令和2年度においても、引き続き防災訓練参加者のすそ野を広げていくと同時に訓練内容等を精査し、区民の要望等を訓練に反映しながら、地域防災力の向上を図っていきます。

所管課 政策経営部 災害対策・危機管理課	決算参考書	228頁	H30予算の概要	178頁
----------------------	-------	------	----------	------